

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年10月9日
【四半期会計期間】	第63期第2四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	株式会社ダイセキ
【英訳名】	Daiseki Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 柱 秀貴
【本店の所在の場所】	名古屋市港区船見町1番地86
【電話番号】	052(611)6322
【事務連絡者氏名】	執行役員企画管理本部長 片瀬 秀樹
【最寄りの連絡場所】	名古屋市港区船見町1番地86
【電話番号】	052(611)6322
【事務連絡者氏名】	執行役員企画管理本部長 片瀬 秀樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第2四半期連結 累計期間	第63期 第2四半期連結 累計期間	第62期
会計期間	自2019年 3月1日 至2019年 8月31日	自2020年 3月1日 至2020年 8月31日	自2019年 3月1日 至2020年 2月29日
売上高 (百万円)	26,892	25,873	54,088
経常利益 (百万円)	5,554	5,140	11,025
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	3,564	3,134	7,044
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	3,831	3,271	7,473
純資産額 (百万円)	73,679	78,229	76,313
総資産額 (百万円)	88,557	92,131	92,050
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	83.35	73.26	164.68
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	76.2	77.9	76.0
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	4,658	4,550	9,633
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	4,093	1,827	11,964
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	700	2,052	450
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	29,994	26,617	25,946

回次	第62期 第2四半期連結 会計期間	第63期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年 6月1日 至2019年 8月31日	自2020年 6月1日 至2020年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	40.99	38.25

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループ事業への影響については、今後の推移を注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により、2020年4月に政府より緊急事態宣言が発出され、社会活動や経済活動が制約されるなど景気は急速に悪化し、リーマンショックを超えるGDPの落ち込みなど先行きの不透明な状況が続きました。

こうした経済情勢下において、当社グループの主力事業である工場廃液を中心とした産業廃棄物の処理業は、国内鉱工業生産が大きく下落したことにより廃棄物の発生量も大幅に減少し、受注量が急激に減少しました。また、燃料価格の低下並びに需要の減少により、リサイクル燃料の販売量も減少し、価格の低迷も相まって、減収減益となりました。

株式会社ダイセキ環境ソリューションが手掛ける土壌汚染処理関連事業は、いわゆるコロナショックにより市場が急速に縮小したため、受注単価の下落を招くなど外部環境が大幅に悪化し、利益率が大幅に低下いたしました。

株式会社ダイセキMCRが手掛ける鉛リサイクル事業は、世界経済の低迷により鉛価格は低下しましたが、工場稼働率が上昇したことにより採算が改善したため、減収となったものの増益を確保しました。

また、システム機工株式会社が手掛ける大型タンク等の洗浄事業も、受注は好調に推移していますが、工事の受注時期や工事期間が後ろにずれ込むことにより、今年度予定の工事完成が来年度になる見込みの案件が出始めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高25,873百万円（前年同四半期比3.7%減）、営業利益4,990百万円（同8.7%減）、経常利益5,140百万円（同7.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,134百万円（同12.0%減）となりました。

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は92,131百万円と前連結会計年度末に比べ81百万円増加いたしました。これは主にたな卸資産が663百万円、受取手形及び売掛金が390百万円、流動資産その他が235百万円それぞれ減少したものの、投資有価証券が715百万円、現金及び預金が702百万円それぞれ増加したこと等によります。負債は13,902百万円と前連結会計年度末に比べ1,835百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が853百万円、未払法人税等が328百万円、長期借入金が298百万円、短期借入金が270百万円それぞれ減少したこと等によります。純資産は78,229百万円と前連結会計年度末に比べ1,916百万円増加いたしました。これは主に利益獲得により利益剰余金が1,723百万円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ670百万円増加し26,617百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に法人税等の支払額1,980百万円、仕入債務の減少額853百万円等があったものの、税金等調整前四半期純利益4,791百万円、減価償却費1,155百万円、たな卸資産の減少額663百万円、売上債権の減少額399百万円等により、総額では4,550百万円(前年同四半期比2.3%減)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出1,146百万円、投資有価証券の取得による支出811百万円等により、総額では1,827百万円(同55.3%減)の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額1,412百万円、長期借入金の返済による支出307百万円、短期借入金の純減額270百万円等により、総額では2,052百万円の支出(前年同期は700百万円の収入)となりました。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、45百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	79,200,000
計	79,200,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	43,000,000	43,000,000	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	43,000,000	43,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日	-	43,000,000	-	6,382	-	7,051

(5)【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
株式会社日本カストディ銀行	東京都中央区晴海1丁目8-12	6,879	16.07
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY (常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業 部)	P.O. BOX 351 BOSTO N MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都港区南2丁目15-1品川イン ターシティA棟)	3,580	8.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	3,458	8.07
J P MORGAN CHASE BA NK (常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業 部)	25 BANK STREET, CAN ARY WHARF, LONDON, E14 5 J P, UNITED KIN GDOM (東京都港区南2丁目15-1品川イン ターシティA棟)	2,962	6.92
有限会社こども未来研究所	愛知県岩倉市下本町真光寺53-6	2,150	5.02
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	1,323	3.09
伊藤 博之	名古屋市緑区	1,061	2.48
伊藤 喜代子	名古屋市緑区	1,043	2.43
有限会社博泰	名古屋市緑区鶴が沢1丁目911番地	1,023	2.39
株式会社アセットマネジメント	名古屋市東区主税町4丁目85	931	2.17
計	-	24,415	57.03

(注)1. 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

株式会社日本カストディ銀行 6,879千株

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 3,458千株

2. 2020年8月6日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、マサチューセツツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニー及びその共同保有者であるMFSインベストメント・マネジメント株式会社が2020年7月29日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、当該大量保有報告書(変更報告書)の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の 数(千株)	株券保有割合 (%)
マサチューセツツ・ファイナンシャル・ サービスズ・カンパニー	アメリカ合衆国02199、マサチューセツツ州、ボストン、ハンティントンアベニュー111	3,636	8.46
MFSインベストメント・マネジメント 株式会社	東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル	672	1.56

3. 2020年9月4日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社及びその共同保有者である日興アセットマネジメント株式会社が2020年8月31日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、当該大量保有報告書(変更報告書)の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の 数(千株)	株券保有割合 (%)
三井住友トラスト・アセットマネジメン ト株式会社	東京都港区芝公園一丁目1番1号	1,485	3.45
日興アセットマネジメント株式会社	東京都港区赤坂九丁目7番1号	1,288	3.00

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 192,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 42,692,900	426,929	-
単元未満株式	普通株式 114,200	-	-
発行済株式総数	43,000,000	-	-
総株主の議決権	-	426,929	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,900株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数19個が含まれております。

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ダイセキ	名古屋市港区船見町1番地86	192,900	-	192,900	0.44
計	-	192,900	-	192,900	0.44

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,783	29,486
受取手形及び売掛金	9,071	8,680
有価証券	1,310	1,302
たな卸資産	2,140	1,477
その他	791	555
貸倒引当金	4	5
流動資産合計	42,093	41,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,798	9,808
機械装置及び運搬具(純額)	4,210	4,043
土地	24,059	24,059
建設仮勘定	494	621
その他(純額)	426	402
有形固定資産合計	38,988	38,935
無形固定資産		
のれん	420	381
その他	302	298
無形固定資産合計	722	680
投資その他の資産		
投資有価証券	7,218	7,933
長期預金	1,000	1,000
繰延税金資産	1,001	1,184
その他	1,043	908
貸倒引当金	16	7
投資その他の資産合計	10,246	11,019
固定資産合計	49,957	50,634
資産合計	92,050	92,131

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,195	3,342
短期借入金	1,650	1,380
1年内返済予定の長期借入金	606	597
未払法人税等	2,054	1,726
賞与引当金	386	426
その他	3,167	2,729
流動負債合計	12,060	10,203
固定負債		
長期借入金	2,178	1,879
役員退職慰労引当金	271	6
退職給付に係る負債	1,001	1,013
その他	224	799
固定負債合計	3,676	3,698
負債合計	15,737	13,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,382	6,382
資本剰余金	7,116	7,147
利益剰余金	56,797	58,520
自己株式	376	328
株主資本合計	69,919	71,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104	51
退職給付に係る調整累計額	6	3
その他の包括利益累計額合計	98	48
非支配株主持分	6,295	6,458
純資産合計	76,313	78,229
負債純資産合計	92,050	92,131

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	26,892	25,873
売上原価	18,357	17,829
売上総利益	8,535	8,044
販売費及び一般管理費	1 3,063	1 3,053
営業利益	5,471	4,990
営業外収益		
受取利息	30	32
受取配当金	8	12
受取保険金	10	75
出資金運用益	18	8
その他	16	26
営業外収益合計	85	154
営業外費用		
支払利息	3	3
保険解約損	-	2
その他	0	0
営業外費用合計	3	5
経常利益	5,554	5,140
特別利益		
固定資産売却益	18	9
補助金収入	55	-
その他	0	-
特別利益合計	73	9
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	13	17
減損損失	2 23	-
固定資産圧縮損	55	-
役員退職慰労金	-	339
特別損失合計	92	357
税金等調整前四半期純利益	5,536	4,791
法人税、住民税及び事業税	1,780	1,643
法人税等調整額	54	165
法人税等合計	1,725	1,478
四半期純利益	3,810	3,313
非支配株主に帰属する四半期純利益	245	178
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,564	3,134

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	3,810	3,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	44
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	20	41
四半期包括利益	3,831	3,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,576	3,085
非支配株主に係る四半期包括利益	255	186

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,536	4,791
減価償却費	883	1,155
減損損失	23	-
のれん償却額	38	38
貸倒引当金の増減額(は減少)	43	7
賞与引当金の増減額(は減少)	60	39
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3	264
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	17	16
受取利息及び受取配当金	39	44
支払利息	3	3
補助金収入	55	-
固定資産売却損益(は益)	18	8
固定資産除却損	13	17
固定資産圧縮損	55	-
出資金運用損益(は益)	18	8
役員退職慰労金	-	339
売上債権の増減額(は増加)	580	399
たな卸資産の増減額(は増加)	177	663
仕入債務の増減額(は減少)	76	853
未払消費税等の増減額(は減少)	379	233
その他	166	437
小計	6,171	6,480
利息及び配当金の受取額	45	52
利息の支払額	3	2
法人税等の支払額	1,555	1,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,658	4,550
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	32	54
定期預金の払戻による収入	22	22
投資有価証券の取得による支出	1,323	811
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	308	30
保険積立金の積立による支出	9	12
保険積立金の解約による収入	10	107
有形固定資産の取得による支出	3,127	1,146
有形固定資産の売却による収入	16	20
無形固定資産の取得による支出	23	5
補助金の受取額	55	-
その他	9	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,093	1,827

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	270	270
長期借入れによる収入	2,000	-
長期借入金の返済による支出	354	307
配当金の支払額	1,111	1,412
非支配株主への配当金の支払額	32	35
自己株式の処分による収入	-	0
自己株式の取得による支出	0	0
その他	70	27
財務活動によるキャッシュ・フロー	700	2,052
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,265	670
現金及び現金同等物の期首残高	28,729	25,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,994	26,617

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
商品及び製品	319百万円	260百万円
仕掛品	1,439	925
開発事業等支出金	7	7
原材料及び貯蔵品	374	284

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
給料手当及び賞与	924百万円	960百万円
賞与引当金繰入額	149	144
退職給付費用	52	69
役員退職慰労引当金繰入額	8	5
貸倒引当金繰入額	2	4

2. 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

減損損失を認識した資産または資産グループの概要

当第2四半期連結累計期間において、以下の資産について減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	減損損失金額
栃木県佐野市	再生重油処理装置	機械装置	23百万円

減損損失を認識するに至った経緯

当第2四半期連結累計期間において、当初の設備計画に変更が生じたことによる将来使用価値の変化により、減損損失を計上しております。

資産のグルーピングの方法

当社グループは事業用資産について、主として管理会計上の区分を基準に資産のグルーピングを行っております。ただし遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

回収可能価額の算定方法

当社グループの回収可能価額は、使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく評価額が零であるため、回収可能価額を零として評価しております。

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金勘定	32,810百万円	29,486百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	2,816	2,868
現金及び現金同等物	29,994	26,617

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月23日 定時株主総会	普通株式	1,111	26.0	2019年2月28日	2019年5月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月1日 取締役会	普通株式	983	23.0	2019年8月31日	2019年10月25日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月28日 定時株主総会	普通株式	1,411	33.0	2020年2月29日	2020年5月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年10月1日 取締役会	普通株式	1,198	28.0	2020年8月31日	2020年10月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至2019年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年8月31日)

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	83円35銭	73円26銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	3,564	3,134
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	3,564	3,134
普通株式の期中平均株式数(千株)	42,767	42,788

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年10月1日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額 1,198百万円

(ロ) 1株当たりの金額 28円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2020年10月27日

(注) 2020年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月9日

株式会社ダイセキ

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 浩幸 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 稲垣 吉登 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ダイセキの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ダイセキ及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。